



2023  
February

2023年2月



Risk Analysis Research Center

## CONTENS

- 02 | 1. 今月のトピックス
- 02 | 2. 各プロジェクトからのお知らせ
- 金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト
  - データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト
  - リスク基盤数理プロジェクト
  - 環境情報に関する統計解析手法開発プロジェクト
  - 地震予測解析プロジェクト
  - 資源管理リスク分析プロジェクト
  - 時空間データ解析プロジェクト
- 03 | 3. センター事務局からのお知らせ

## 1. 今月のトピックス

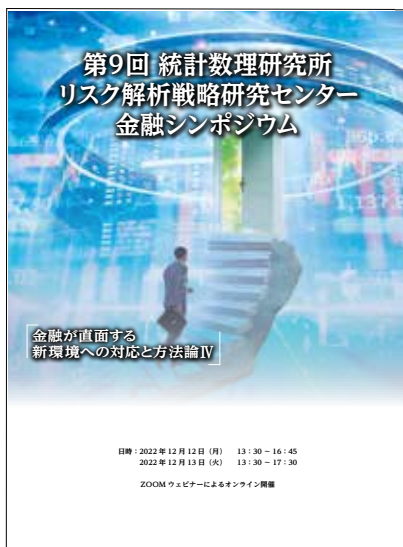
リスク解析戦略研究センターでは3月にデータ中心リスク科学基盤整備、環境情報に対する統計解析手法開発及び、資源管理リスク分析の3プロジェクトでコロナ禍以来の対面形式の公開講座やシンポジウムが再開されます。各プロジェクトの内容を是非ご覧ください。

(所内責任者：山下 智志 教授)

## 2. 各プロジェクトからのお知らせ

### ■ 金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト

- 12月12-13日に行った第9回リスク解析戦略研究センター金融シンポジウムの報告集をまとめ、関係者に配布します。秘匿性のデータや著作権の関係で配布先は限定しています。



(所内責任者：山下 智志 教授)

- 金融プロジェクトの高度信用リスクデータコンソーシアムは、地銀5行と統数研の間でデータベース管理及び研究活動を5年以上続けています。コロナの影響で活動を一時休止していましたが、昨年2月より研究活動を再開し、今年度は冊子体の報告書を作成しました。銀行の内部データがある為、公開は出来ませんが、プロジェクトの活動エビデンスとして、統数研内で保管しています。

### ■ データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト

- 1月24日と3月14日に公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムによる「公的統計マイクロデータのためのチュートリアル・講習会」を開催しています。詳細は下記リンクを参照ください。

[http://jmodc.org/event/sche\\_repo\\_workshop2022.php](http://jmodc.org/event/sche_repo_workshop2022.php)

この講習は、オンサイト利用に相当するデータ分析環境を準備し、公的マイクロデータに固有の状況を踏まえたデータ分析の実践的ノウハウを提供することを目的としています。

1月24日のチュートリアルでは総務省統計局関係者の方を講師に迎え、公的統計の概要、二次的利用制度、データ利用事例に関する講義を実施して全体で86名の参加がありました。質疑応答も活発に行われ、大変盛況でした。

3月14日は立正大の高部勲先生を講師に迎え、公的統計の調査票から作成した、疑似マイクロデータ(合成データ)を用いて、Rによるデータ分析演習を実施します。

(所内責任者：南 和宏 教授)

### ■ リスク基盤数理プロジェクト

- 客員教員の吉羽要直教授が来年度のコピュラに共同研究集会に向けての準備を開始しています。(オーガナイザー：吉羽要直客員教授、栗木哲教授)

### ■ 環境情報に対する統計解析手法開発プロジェクト

- 3月22日ISMシンポジウムを対面形式で開催します。本シンポジウムは山下智志教授を始め、加藤昇吾准教授、間野修平教授、昨年ご協力頂き、今回も中心的役割で参加予定の村上大輔助教等、リスクセンターの各プロジェクトから複数の先生方に参加頂き、リスクセンター全体的な事業となります。

(所内責任者：金藤 浩司 教授)

## ■ 資源管理リスク分析プロジェクト

- 12月21-22日カンボジアでの国際WS「R program level 4 and 5workshop」を現地側ではオンサイトで実施して日本側はオンラインで開催しました。

<https://www.agfrem.org/workshop/202212.html>

- 2月9-10日 ネパール対象の統計数理ワークショップを開催予定です。
- 2月17日 インドネシア・ボゴール大学にて統計数理インターンシップを開催する予定です。
- 3月13-14日 統数研にて統計数理インターンシップを対面とオンライン両方のハイブリット形式で開催予定です。
- 3月16-17日 FORMATH 国際シンポジウム姫路を対面形式で開催予定です。

<https://www.formath.jp/symposium/>

(所内責任者：吉本 敦 教授)

## ■ 地震予測解析プロジェクト

- 12月26日 第87回統計地震学セミナーが開催されました。講演者は佐藤大祐（京都大学防災研究所・JSPS 特別研究員）演題：「適切な会報の発明 正則化事前確率を使用する場合の階層ベイズ反転」で、13名の参加者がありそのうち外国人はは5名でした。

[https://www.ism.ac.jp/~ogata/Ssg/ssg\\_statsei\\_seminars.html](https://www.ism.ac.jp/~ogata/Ssg/ssg_statsei_seminars.html)

(担当：熊澤 貴雄 特任准教授、熊 子瑶 特任助教)

- 2月28-3月24日 地震のプロジェクトにGFZのSebastian Hainzl氏が来日して滞在研究を行う予定です。
- 3月2日 第10回Star-E勉強会が開催予定です。今回の担当は統数研です。

(所内責任者：庄 建倉 准教授)

## ■ 時空間データ解析プロジェクト

- 3月17日 COVID-19に関するシンポジウムをオンラインで開催予定で、その為の準備を進めています。国際感染症センターの大曲貴夫教授、東

北大学の中谷友樹教授他を招聘予定です。

(所内責任者：村上 大輔 助教)

- カリフォルニア大学との共同ワークショップの開催を計画しています。現在、来年度の開催に向け時期の検討に入っています。

(所内責任者：松井 知子 教授)

## 3. センター事務局からのお知らせ

- 1月のリスクセンター運営会議の議題

- ・ リスクセンター PD の面接結果について
- ・ 来年度予算の申請について
- ・ 来年度共同利用重点テーマについて
- ・ 客員教員及び外来研究員の申請について
- ・ 各プロジェクトからの報告
- ・ その他

- ・ 次回の会議は2023年2月8日(水) 11:00～の予定です。

2023/2/1